

5/15 教育振興のために
明治大学校友会大牟田地域支部から小学校に一輪車を寄付

▲一輪車を贈呈された長洲小の皆さん

明治大学校友会大牟田地域支部（金森弘光支部長）が長洲小学校を訪れ（松永光親校長）を訪れ、一輪車贈呈式を行いました。この日は明治大学マンドリン俱楽部が、3月に荒尾市でチャリティコンサートを開催した収益の一部を、長洲町の教育の振興のために使ってほしいと贈呈したものです。

児童を代表して、6年生の小野琉成さんが「一輪車が増えてうれしい。もっと練習したい」とお礼をのべました。一輪車は、各小学校に4台ずつ配布されました。

5/11 水産振興に向けて～
産学官連携事業の更なる連携強化を目指して～▲握手を交わす、中逸町長（左）と
福岡大学 山口学長（右）

平成27年産学官連携の協定に基づき、現在、長洲海岸地先では、福岡大学が研究を進めているフルボ酸鉄シリカ素材（水質浄化作用）を用いた実証試験により、あさりの生育やヘドロの減少が確認されています。

このたび、中逸町長が福岡大学を表敬訪問し、長洲町と福岡大学と熊本北部漁業協同組合が水産振興へ向けてさらなる連携強化を図ることが確認され、今後もこの取り組みにより、あさりの資源回復や干潟の環境改善が期待されます。

4/29 長洲有明ライオンズクラブ交通安全啓発活動
交通事故ゼロを呼びかける

▲乗客に交通安全を呼びかける

長洲有明ライオンズクラブ（浦辺朝章会長）は、長洲港の有明フェリー乗り場で交通安全啓発活動を行いました。

これは、春の交通安全キャンペーンの一環として毎年行われているもので、この日は、乗船待ちをしている車に交通安全啓発チラシと清涼飲料水を配り、行楽の交通安全を呼びかけました。浦辺会長は、「GWで車を利用する人に交通安全に気を付けて楽しい休日を過ごしてほしい」と話しました。

4/22 下東区
ひょうたんを使った作品づくり

▲荒木正行さんと参加者

下東区（中逸博区長）では、介護予防拠点はっとり荘で、ひょうたんを使った作品づくりが行われました。

これは、はっとり荘で昨年行われた門松作りの広報記事をみた荒木正行さん（宮ノ町）が、20年以上携わってきたひょうたんの作品づくりを、町内に広めたいとの思いから実現したものです。この日参加した21名の参加者は、形や大きさの異なるひょうたんに、色を塗ったり、焼きゴテで絵や文字を書いたりして、個性豊かな作品を完成させました。

5/10 子どもたちの心温める姿に感動
長洲町子ども写真コンテスト

▲表彰を受けた野方さんと家族

町では4月5日から4月22日までの期間「長洲町子ども写真コンテスト」を行いました。

これは、子どもへの愛着や子どもの人権への理解、家族との絆を深める機会として行ったものです。

町長賞を受賞した野方さんは、「今回の受賞を励みに、これからも楽しんで子育てを頑張りたいと思います」と話しました。

なお、結果は次のとおりです。

- 〈町長賞〉「初めての花見」野方綾さん（荒尾市）
- 〈教育長賞〉「公園 楽し～!!」森永恵さん（長洲町）
- 「仲良くあ～ん」田上将太朗くん（長洲町）
- 〈児童長賞〉「ママおかしいね」杉本美佳さん（長洲町）
- 「小さくても立派なお兄ちゃん」田上麻美さん（長洲町）
- 「パパですよ～♡」山口幸恵さん（長洲町）

4/10 熊本県小学校学年別柔道大会
長洲柔道塾総合優勝！

▲総合優勝した選手たち

長洲柔道塾（新宅一成監督）は山鹿市総合体育館で行われた第7回県小学校別柔道大会において、団体で総合優勝し、多くの選手が上位入賞に輝きました。

この日は、県内各地より多くの選手が参加し、白熱した試合が行われました。

入賞者は以下のとおりです。

優勝

- 1年生男女混合無差別級 平島 煌靖（梅田区）
 - 4年生男子軽量級 田島 元輝（玉名市）
 - 4年生女子軽量級 山田莉々子（鷲巣区）
- 準優勝
- 2年生男女混合無差別級 山田 畏宣（鷲巣区）
 - 3年生男女混合重量級 金井 海広（腹赤区）
 - 4年生男子重量級 藤木 青空（宮ノ町区）

5/4 チェーンソーアートの祭典
げんきの館に積み木を贈呈

▲贈呈式の様子

延岡チェーンソーアート部隊（新本比佐良代表）は、介護予防事業に役立てもらいたいと積み木を贈呈しました。

この日出席した、荒本比佐良代表は「大きくて高齢者にも使いやすいように積み木を作っているので、一人でも多くの人に木の温もりを感じながら、楽しんで使ってもらいたい」と話しました。

今回、贈呈していただいた積み木は、4月に開所した高齢者支援施設「げんきの館」で活用します。

5/4 長洲海岸潮干狩り開催
有明海の干潟を満喫

▲潮干狩りを楽しむ参加者

長洲海岸で潮干狩りが開催され、約950人が参加し、大型連休を満喫しました。

この取り組みは、熊本北部漁業協同組合（上田浩次代表理事組合長）が、子どもたちや地域住民の皆さんに有明海の干潟に触れ合ってもらおうと毎年開催しているもので、今年で6回目の開催となります。

当日は、赤い貝を見つけた人に、長洲産焼き海苔をプレゼントするなどのイベントも開催され、参加者は有明海の干潟を満喫し、大盛況のうちに終了しました。